

浜岡原子力発電所 廃棄物減容処理建屋
減容固化用濃縮廃液受入タンクの液位の変動について(続報)

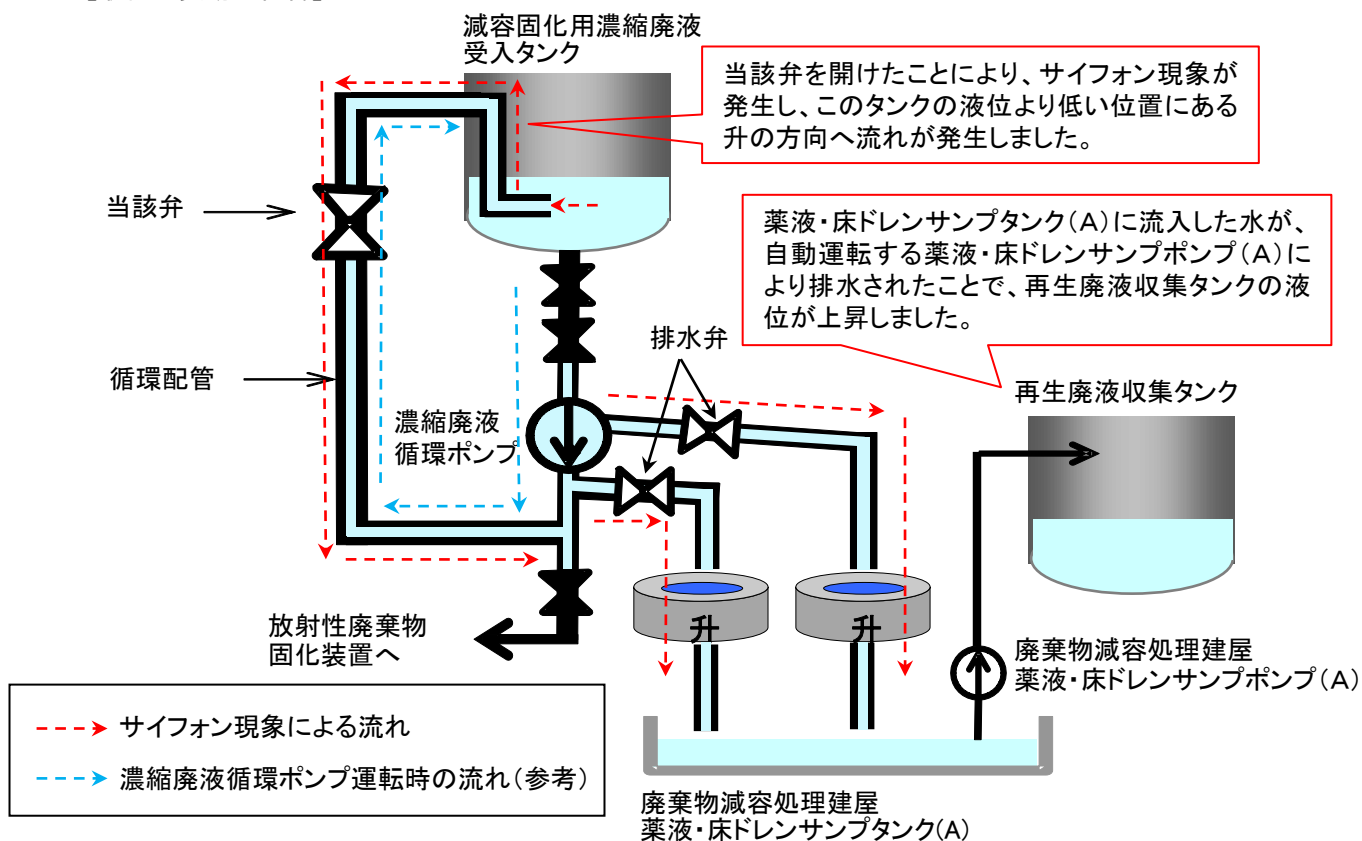
2015年5月28日

【今回お知らせする内容】

<p>原因</p>	<p>調査の結果、液位の変動の原因は、サイフォン現象※によって減容固化用濃縮廃液受入タンク内の水が排水先の升を経由して薬液・床ドレンサンプタンクへ流れたものと推定しました。</p> <p>事象発生時、減容固化用濃縮廃液受入タンクの循環配管にある弁(以下、「当該弁」とする。)の点検のため、当該配管ラインを排水弁から排水した後、当該弁を開けました。これにより減容固化用濃縮廃液受入タンクから排水先の升へ流路が形成され、サイフォン現象が発生したものと推定しています。</p> <p>今回の事象については、当該弁の点検を計画する際にサイフォン現象に関する検討が不足しており、減容固化用濃縮廃液受入タンク内を空にしてから点検する、あるいは配管内へ空気を送るなど、サイフォン現象を防止するために必要な措置をおこなっていなかったことが背後要因であると考えております。</p>
<p>対策</p>	<p>背後要因を踏まえ、サイフォン現象に関する検討を十分におこなうための対策として、運転・保守経験からの教訓や反映事項を蓄積しているデータベースへ今回の事象を登録し、広く発電所で情報共有するとともに、点検計画時や点検作業時などに活用することで、再発防止に努めます。</p>

※ サイフォン現象は、2つのタンク間を配管でつないだときに、配管の中が液体で満たされていると、2つのタンクの水位が同じになろうとする方向に流れが発生する現象です。

【液位の変動の経緯】



以上

【これまでにお知らせした内容】

([2015年3月5日](#) お知らせ済み)

発生号機	廃棄物減容処理建屋
発生日	2015年3月5日
発生時の状況	<p>2015年3月5日午前9時頃、協力会社社員が定時の記録確認をおこなっていたところ、変動する操作をおこなっていないにもかかわらず、廃棄物減容処理建屋の減容固化用濃縮廃液受入タンク^{※1}の液位が低下し、再生廃液収集タンク^{※2}の液位が上昇していることを確認しました。</p> <p>現在、2つのタンクがつながる配管の弁を閉止したことで、タンク液位の変動は止まっています。</p> <p>本事象による放射性液体廃棄物の系統外への漏えいはありません。また、本事象は発電所からの放射性物質の放出に係るものではなく、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>今後、原因調査をおこなっていきます。</p>
お知らせ基準	「表 2-18 その他の事象であって、公表が望ましいと判断したもの」に該当します。

※1 減容固化用濃縮廃液受入タンクは、放射性廃棄物固化装置へ移送する濃縮廃液を受け入れるためのタンクです。

※2 再生廃液収集タンクは、放射線管理区域内の作業で発生した廃液などを中和させるためのタンクです。

以上

減容固化用濃縮廃液受入タンク 液位変動の状況

